

## 研究用試薬 口腔内マイクロバイオーム DNA 採取キット

### OMNigene® · ORAL OM-501

#### はじめに

OMNigene® · ORAL は、唾液からの細菌・ウイルス DNA の採取および保存のために開発された研究用試薬です。病気の診断や創薬、人に施すような目的での使用はできません。取り扱いには十分ご注意くださいようお願い致します。

※商品と同梱されているすべての添付資料（安全データシート：SDS など）を確認の上、本製品をご利用ください。

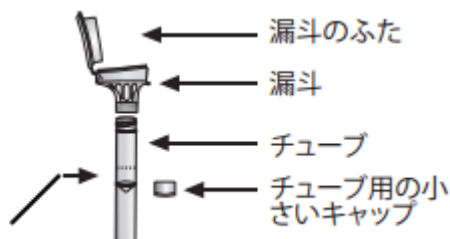
※本書および SDS を常に一緒に保管してください。

SDS ダウンロード用 URL：[https://www.kyodo-inc.co.jp/bio/nucleic\\_acid/sds.html](https://www.kyodo-inc.co.jp/bio/nucleic_acid/sds.html)

※Oragene · ORAL は、採取前、採取後ともに室温(15~30°C)で管理、保存してください。

#### ステップ1. 唾液検体の採取方法

唾液を採取する 30 分前は飲食(ガム等を含む)、歯磨き、うがい、喫煙等をしないで下さい。漏斗のフタについているプラスチックフィルムは剥がさないで下さい。



唾液採取ライン(FILL TO)

#### **【警告および注意】**

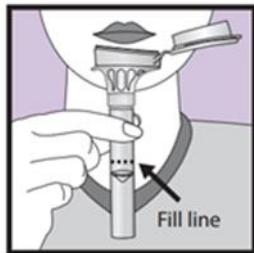
OMNigene · ORAL の保存溶液が目や皮膚に付着した場合は、大量の水で洗い流してください。また飲み込んだりしないで下さい。

使い終わった容器などは各自治体の規則に従い廃棄して下さい。

保管：室温(15~30°C)で保管して下さい。

小さいキャップをのどに詰まらせると窒息する危険性があります。取り扱いには十分ご注意ください。

1. 唾液採取ライン(FILL TO と表示)まで唾液を入れます。唾液中の泡は量として見なしません。



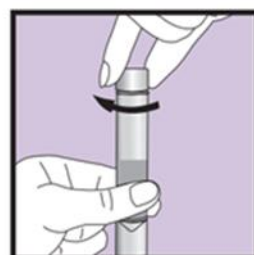
2. 採取キットを垂直に持ち、漏斗のふた部分(保存溶液)をしっかりと閉めます。閉めるとチューブ内に保存溶液が入り、唾液と混ざります。



3. 容器を垂直に持ち、漏斗部分を反時計回りに回し、漏斗をチューブから外します。



4. キャップでしっかりとチューブにふたをします。



5. 軽く 10 秒間転倒攪拌します。



## ステップ2. DNA 保存

OMNIGene・ORAL は、室温(15~30°C)で保存してください。サンプル採取後は、室温で1年間安定的に保存可能です。使用期限はチューブ横面に記載しております。

## ステップ3. DNA 精製

### 【市販の核酸抽出キットでの精製】

精製に必要な器具、試薬

- ・ 50°Cに加熱可能な水浴槽または、恒温槽
- ・ 市販の核酸抽出キット(Qiagen 製 QIAamp PowerFecal Pro DNA Kit cat:51804)

精製過程
1. サンプルを受け取ったら、10 秒間以上よく攪拌して下さい。
2. サンプルは 50°Cで、水浴槽(1 時間以上)または、恒温槽(2 時間以上)でインキュベートして下さい。 *このインキュベート処理は必ず行ってください。インキュベートは、サンプルを受け取ってから抽出を行うまでの間であれば、どの時点で実施しても構いません。 **OMNIGene チューブからサンプルを少量に分けて抽出する場合、毎回 OMNIGene チューブをインキュベートする必要はありません。(1 回インキュベートをすれば OK です) ***サンプルは室温で 1 年間安定的に保存可能です。また加熱する前後で -20°Cで凍結保存も可能です。凍結保存はクライオチューブなどの凍結に対応したものに移し替えてください。
3. PowerBead Pro tube のビーズが底に落ちているか確認してください。
4. OMNIGene チューブからサンプル 250µL を PowerBead Pro tube に移し、よく混合させてください。
5. 800µL の CD1 溶液を加え、以降は Qiagen 製 QIAamp PowerFecal Pro DNA Kit のプロトコールに従って、ステップ 2(bead vortexing)から続けてください。

PD-PR-01080